

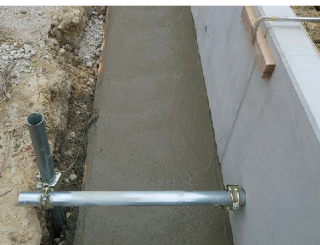
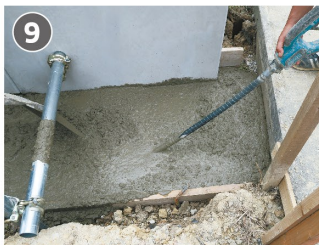
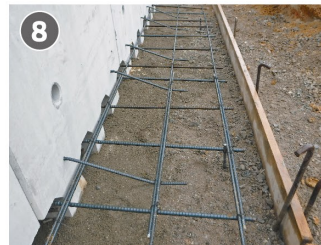
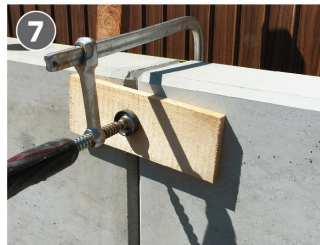
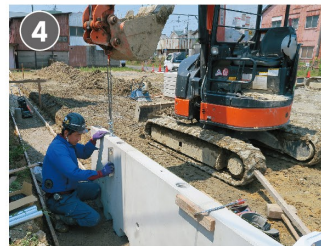
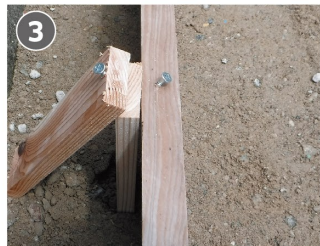
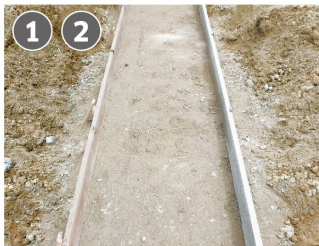
作業手順

施工時に転倒による事故を無くするためのマニュアルです。
十分安全に配慮して下記の手順に沿って作業をしてください。

資格/車両系建設機械運転者
玉掛け技能講習

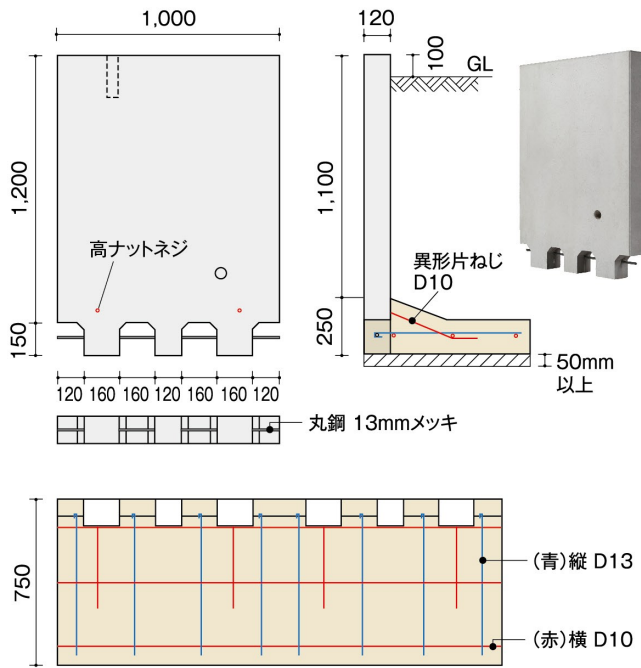
① 丁張	施工場所の天端高さ・通りを水系にて出す。	
② 床付け・砕石	掘削床付け。砕石敷き均し50~100mm(地盤による)転圧。	
③ 基礎型枠	AW設置側の基礎型枠は、通りを優先して強固に固定する。 つり込み本体の下部設置ラインになります。	
④ 本体吊り込み	バサモルタル下地にて高さ調整し、通り方向を型枠に押し当て、 位置決めして固定する。	金具 A・B
⑤ 転倒防止	鋼管パイプをクランプで固定する。 固定後吊り込み金具を取り外す。	図1
⑥ 設置止め固定	専用金具のVボルト・V固定金具にて立て起こしの調整固定。	図2 金具 C・D
⑦ 2本目以降	連結部を添え板とともに万力で固定し、 1本ごとにV固定金具・Vボルトにて立て起こしの調整固定。	金具 C・D・E
⑧ 配筋	図面に従い配筋。	図3
⑨ コンクリ打設	指定強度のコンクリ打設・養生。 (完了分は当日コンクリ打設することが望ましい)	図4 キャップ F
⑩ 埋戻し整地	養生期間等考慮して埋戻して整地。 (埋戻しを先行する場合は品質管理を怠らないよう)	

※連続据え付け時の作業中断及び悪天候の際は、転倒防止補強バリケード養生をし安全を確保する。

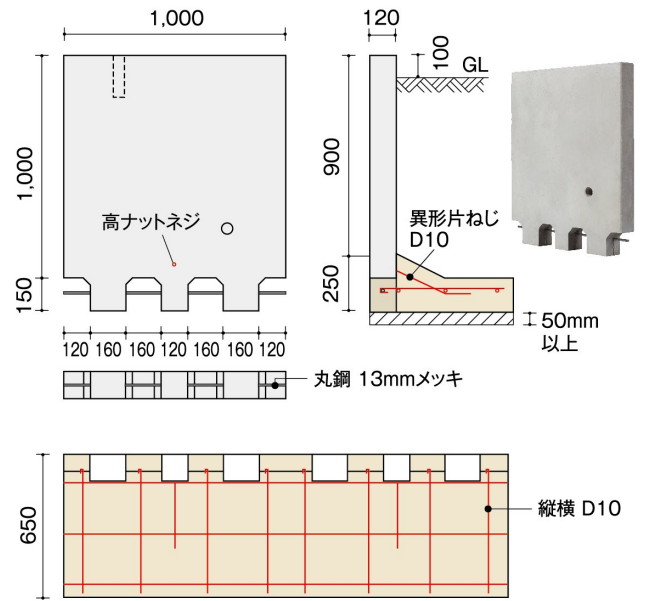


AW-12

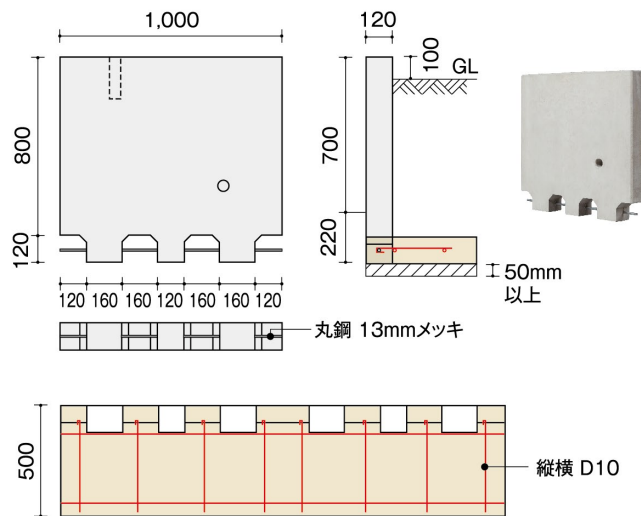
重量:360kg

**AW-10**

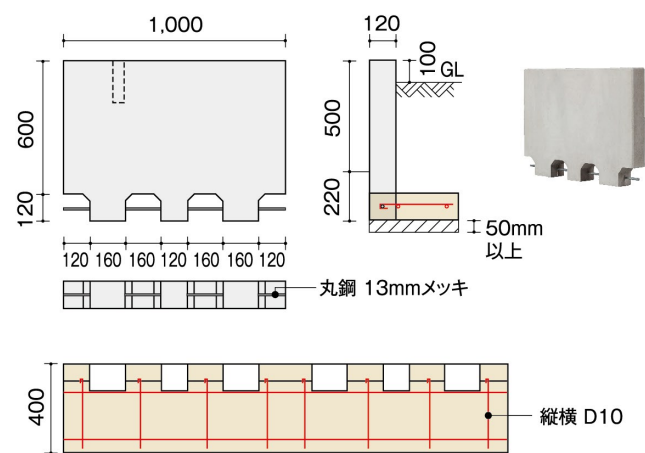
重量:303kg

**AW-8**

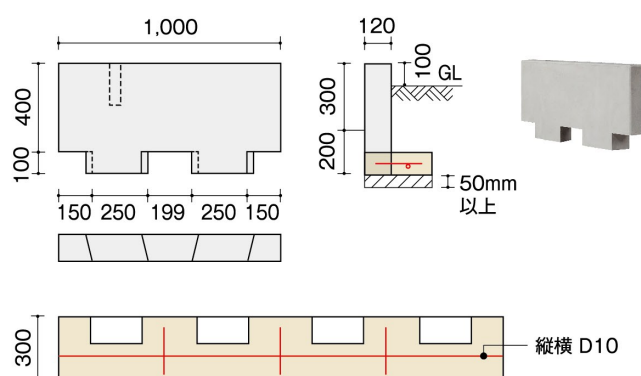
重量:246kg

**AW-6**

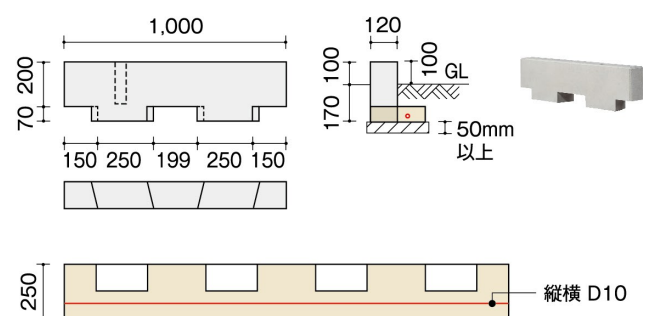
重量:186kg

**AW-4**

重量:126kg

**AW-2**

重量:66kg



■基礎一覧表 (mm)

表面荷重5KN/㎡以下 天端荷重1KN/㎡以下

型番	A 全高	B ウォール厚	C 幅	D (参考) ベース厚	基礎幅地耐力別					(参考) 砕石厚
					E ベース幅					
					40KN/㎡	50KN/㎡	60KN/㎡	70KN/㎡	80KN/㎡	
AW-12	1350	120	1000 (999)	150~250		1050		(図面)750	50以上	
AW-10	1150			150~250	900		(図面)650			
AW-8	920			120	700		(図面)500			
AW-6	720			120	550	(図面)400	350			
AW-4	500			100	(図面)300					
AW-2	270			70	(図面)250					

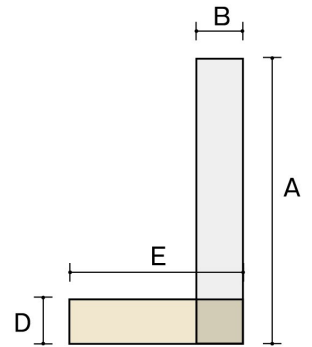


図1 転倒防止

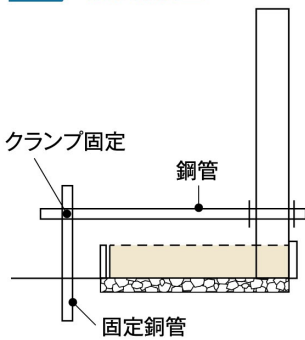


図2 設置止め固定

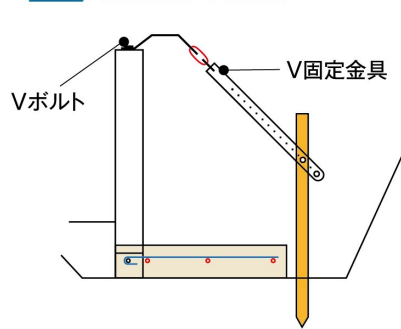


図3 配筋側面

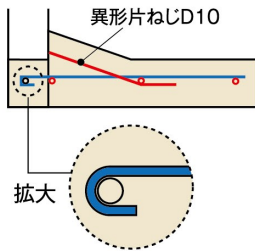
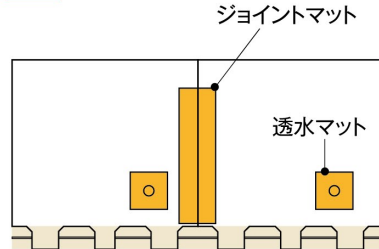


図4 透水マット



■組み付け作業必要器具一覧

専用金具	A L600 L1000 4分ワイヤー	市販品	鋼管パイプ L1000	工具	モンキーレンチ、カケヤ	
	B Vハンガー		鋼管杭 L1000		インパクトドライバー、皿ネジ	
	C Vボルト 設置数量分		鋼管パイプクランプ		その他	基礎型枠材、止め杭、添え木、他
	D V固定金物 設置数量分		E 万力 設置数量分			

専用金具

A L600・L1000 4分ワイヤー	B Vハンガー	C Vボルト	D V固定金具	E 万力	吊穴キャップ
					F 中栓キャップ

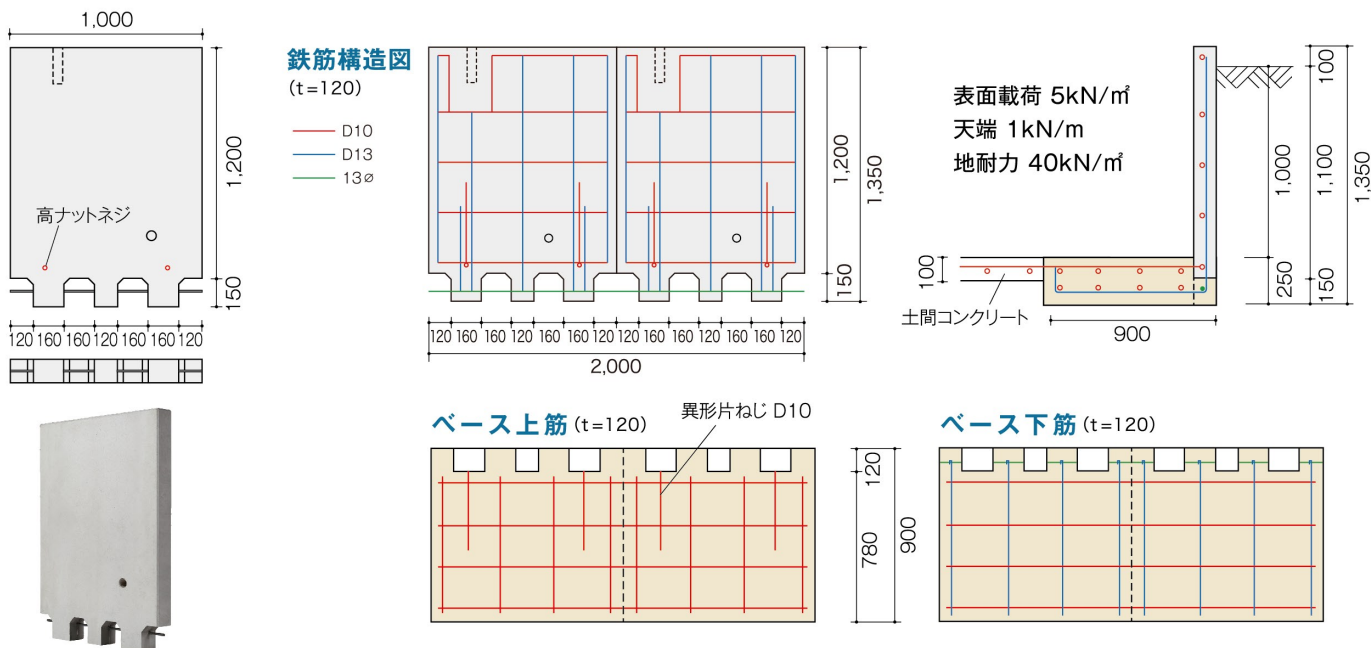
建築基準法のH1000以上の高低差には対応していません。

逆L施工

■逆L基礎一覧表 (mm) 表面荷重5kN/m²以下 天端荷重1kN/m²以下

型番	全高	ウォール厚	幅	ベース厚	N値にてベース幅変動なし	
					ベース幅	
AW-12	1350	120	1000	(図面) 250	900	土間コンクリート併合タイプ
AG-08 (別途カタログ)	1600	120	800	300	1550	独立タイプ
				(図面) 400	1450	
				500	1400	

AW-12 土間コンクリート併合タイプ



AG-08 (門柱タイプ)使用 独立タイプ

(アレンジキャスト総合カタログ参照)

